

出足早く、二〇一二年も九条の会の運動は出番！

激動の政局に「活憲」を！

「一体改革」(消費税増税と社会保障)
・震災復興・原発問題・TPP・沖縄、
普天間問題などで、アメリカと財界言
いなりの悪政に、衆議院の「比例定数
80削減」をやっても突き進もうとい
う野田政権。



憲法前文が
いう「正当に
選挙された国
会」と、憲法
の各条項を活
かすことを求
める、国民各
層のたたくい
の年明けで

今年最初の9の日デーの取り組み 札幌九条の会

札幌中学の近くの地域に4人で入り、
新興住宅で若い世代が多かったが、快
く9条署名をしてくれ11筆集まりました。
累計一六一〇筆になりました。

丘珠みなみ・伏古北九条の会

生協新道店前で7人の参加で「普天
間を返せ・辺野古新基地に反対」のチ
ランを配りました。いつもより人出が
少なく残念でしたが、終了後「今年も
頑張ろう！」と写真を撮りました。(上)

道勤医協東友の会9条の会

環状通り・ホームック前で5人の参
加で、憲法9条と25条の立場から「社
会保障と税の一体改革」に反対する宣
伝を行いました。

わたしと憲法・9条 No32 敗戦前後の3、4年が私の原点



伏古九条の会世話人 眞鍋 幸治

1945年5月の名古屋空襲で家を焼かれ、学童疎開先の三重県から呼び戻された。開拓帰農団の一員として北海道に行くため、その時、私は国民学校4年生だった。8月17日に名古屋を出発し、目的地の幌加内に着いたのは8月22日だった。山の中の飯場のような長屋に7人家族が暮らした。毎日の食事はカボチャやジャガイモ、時には澱粉糰も食べた。ご飯がわりにニシンを2・3匹焼いて食べて終わりということもあった。父は結核で3ヶ月もしないで、医者にかかることもなく飯場で死んだ。

母が沼田町の小学校の教員に採用されて、家族は山の中から脱出した。中学生になってすぐ、「あたらしい憲法のはなし」という教科書が配られて学んだ。最も印象に残っているのは、「戦争の放棄」の部分で、「みなさんの中には、---くうしゅうで、いえやうちの人を、なくされた人も多いでしょう。いまやつと戦争はおわりました。二度とこんなおそろしい、かなしい思いをしたくないと思いませんか」とあり、るつぽの中に戦車や戦闘機などが投げ込まれ、下から電車や客船などが出てくるイラストが描かれていた。私にとって「憲法9条」は、まさに待ち望んでいたもので、敗戦を挟んだ3・4年は、その後の私のさまざまな活動の原点となった。

第6回「憲法9条」を守る 親子で楽しむピースフェスティバル 福島原発は「収束」していない！



11月29日、上記の会が光星はとポップ保育園9条の会、憲法9条を守るみかほの会、ポプラ保育園9条の会の共催で行われました。

「子どもたちを放射能から守りたい～原発と放射能のお話～」と題し、札幌琴似工業高校の川原茂雄先生の話しを聞きました。先生は3・11以降全道各地で「出前授業」に取り組んでいます。子どもの方が放射線の影響を受けやすい、今も放射性物質は放出されている、原発周辺には2度と人は住めない、原発が止まっても核のごみは残ること等をわかりやすく話されました。

最後に、政府は真相を隠している、先ず真実を知ること、それを周りの人に伝え変えていくことが大切と熱く語りました。

「新成人・おめでとう！」宣伝

9日、つどいむで行われた東区の成人式の会場前で東区9条の会、栄東9条の会、新婦人から7人の参加で宣伝を行いました。「核兵器全面禁止、脱原発、普天間基地撤去」等訴え「おめでとうございませす」といいながらチラシを配ると緊張した晴れやかな笑顔で受け取りました。30分で125枚配りました。



結成6周年・記念のつどい

丘珠みなみ・伏古北九条の会

12月11日、「原発事故から9ヶ月---震災・被曝から子どもたちを守るため



から報告や意見、疑問も次々に出され、DVDのリプレイや事務局が編集した資料の説明、追加の映像の紹介などで学習は深められ、後半の討論は1時間を越す盛り上がりでした。

に」と題した、同会の結成6周年・記念のつどいが開かれました。つどいは先ず、6月に札幌で行われた小出裕章氏の講演を記録したDVD「被曝の時代---福島原発事故」の後半部分が約33分上映されました。続いて放射線被曝に関する専門の研究者や医師、食品分析や生活指導に取り組むなど各界の人々が語る、DVD「放射線内部被曝から子どもたちを守るために」(23分間)が上映されました。その後参加者からは報告や意見、疑問も次々に出され、DVDのリプレイや事務局が編集した資料の説明、追加の映像の紹介などで学習は深められ、後半の討論は1時間を越す盛り上がりでした。